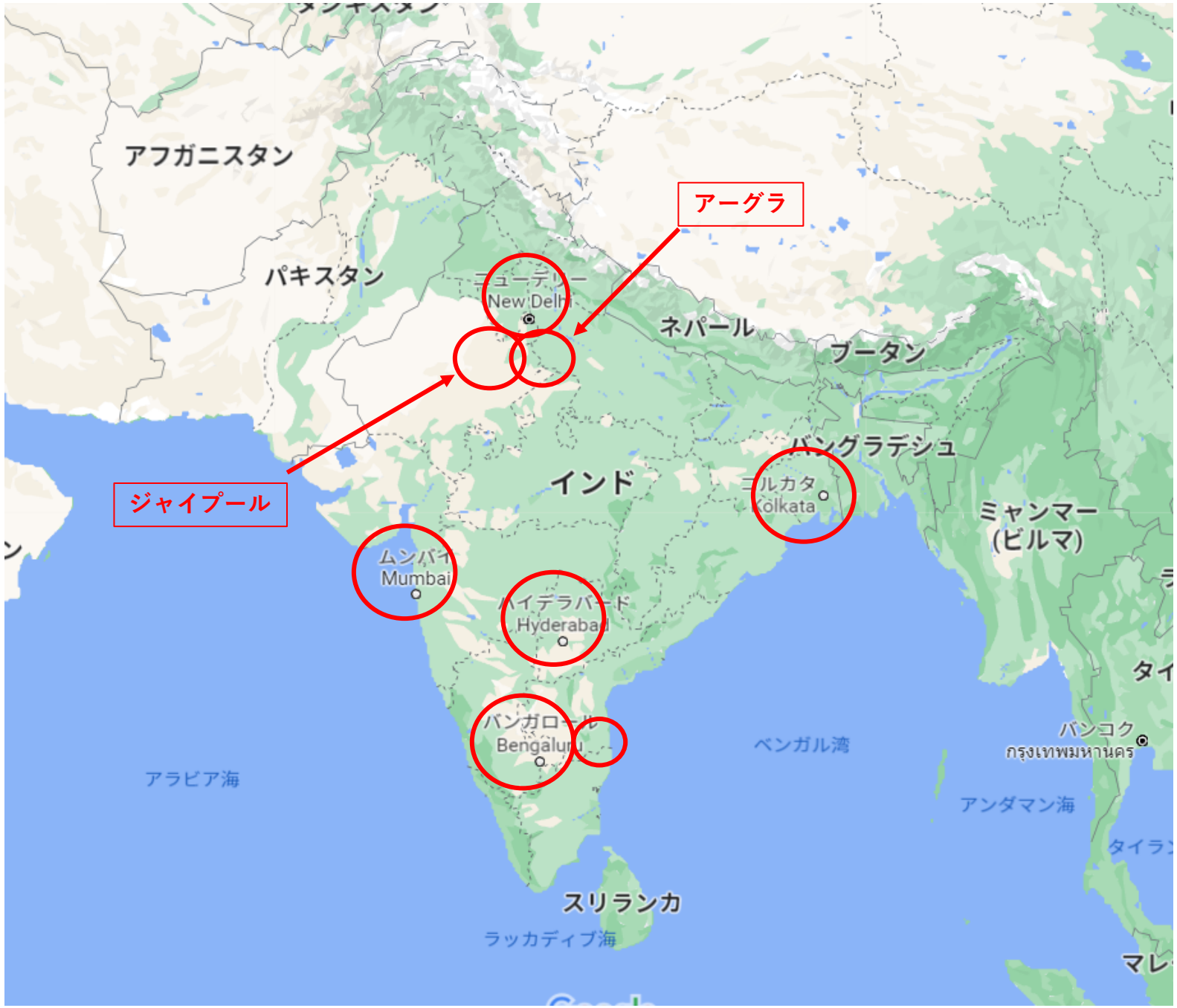
２０２２年２月２３日（水）
インターネット世界旅行

インド

アーグラとジャイプールの巻

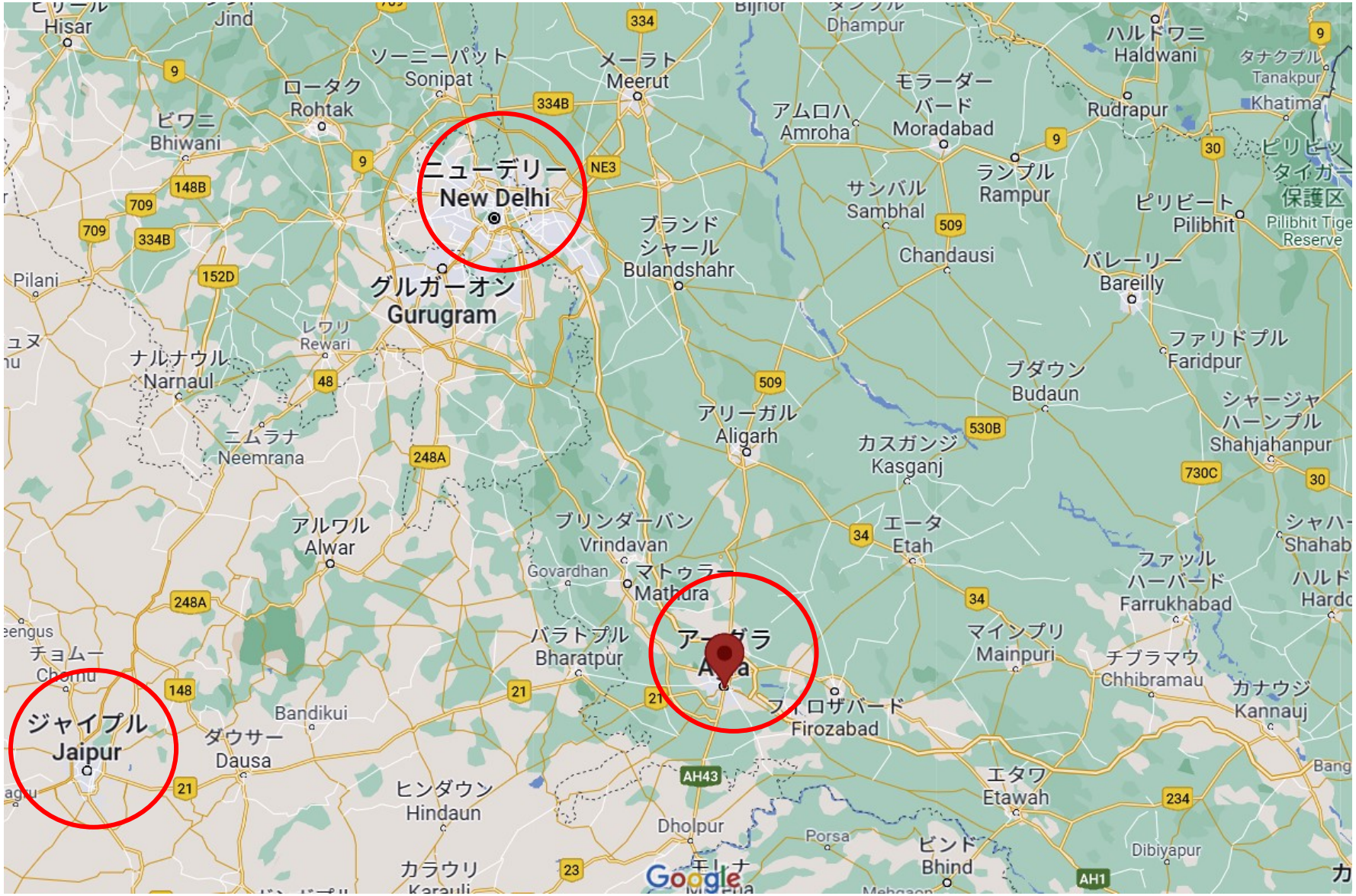
吉岡　芳夫



アーグラとシャイプールは、ニューデリの南２５０ｋｍほどのところにある。

アーグラは、インドのウッタル・プラデーシュ州に属する都市。同州最大の都市で、2011年現在の人口は約157万。

世界遺産に登録されているタージ・マハル廟、アーグラ城塞があることで知られる。


ニューデリー
New Delhi
グルガーオン
Gurugram
アーグラ
Agra
ジャイプル
Jaipur
Hisar
Jind
Sonipat
Rohtak
Bhiwani
Meerut
Dhampur
Haldwani
Tanakpur
Khatima
Rudrapur
Amroha
Moradabad
Rampur
Sambhal
Chandausi
Pilibhit
Bareilly
Bulandshahr
Pilani
Rewari
Narnaul
Neemrana
Aligarh
Kasganj
Budaun
Faridpur
Shahjahanpur
Alwar
Vrindavan
Govardhan
Mathura
Etah
Farrukhabad
Mainpuri
Chhibramau
Kannauj
Bharatpur
Firozabad
Bandikui
Dausa
Hindaun
Dholpur
Porsa
Etawah
Bhind
Dibiyapur
Google

アーグラの地勢・産業

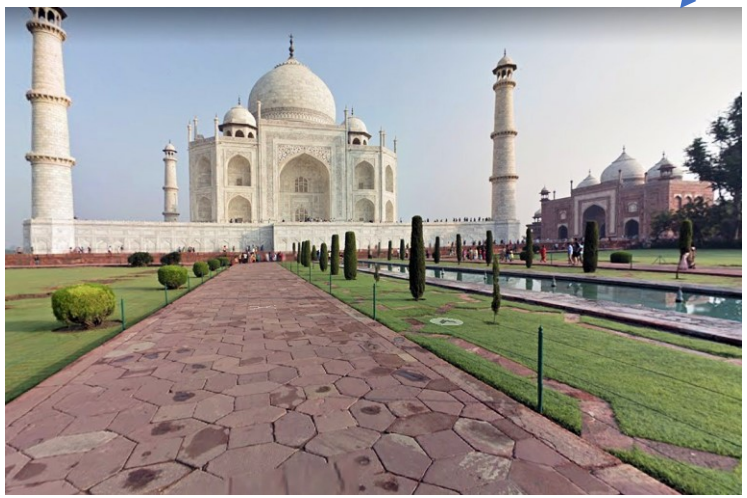
- ガンジス川最大の支流であるヤムナー川沿いに位置する都市で、古代より交通の要所として発展した。
- 周辺地域における政治、経済、文化の中心。
- 世界遺産にも定められているタージ・マハルなど多くの観光名所があり、多くの観光客が訪れる。
- 近隣の都市としては、約180キロ北にデリー、220キロ西にジャイプル、300キロ東にラクナウが位置している。

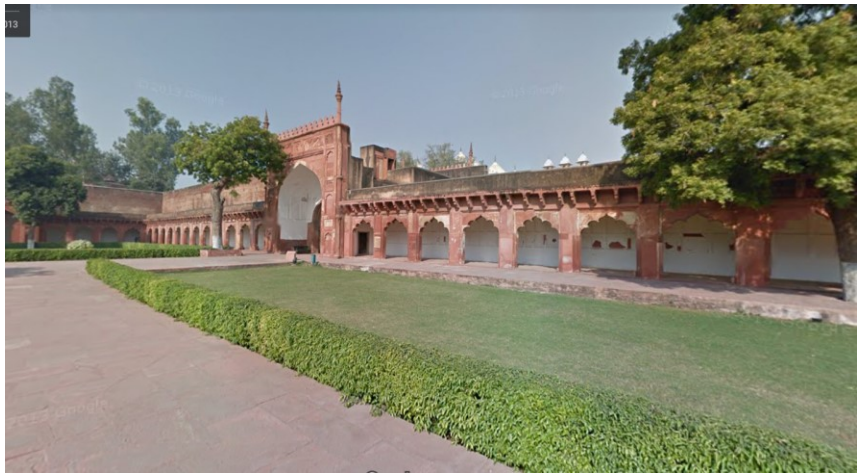
歴史

- 1475年頃に、ラージャ・バダル・シングによって現代のアーグラとなる都市が設立された。
- 16世紀初頭、最後のデリー・スルターン朝であるローディー朝がこの地に都をおいた。
- ローディー朝を倒して1526年にムガル帝国が建てられるが、その3代皇帝であるアクバルの時代に都として定められた。
- 5代皇帝のシャー・ジャハーンは、愛妃ムムターズ・マハルの死を嘆き、この街にタージ・マハル廟を建てた。
- 19世紀よりイギリスの支配下に入り、植民地統治の拠点の一つとなる。1927年にはアーグラ大学が建てられた。

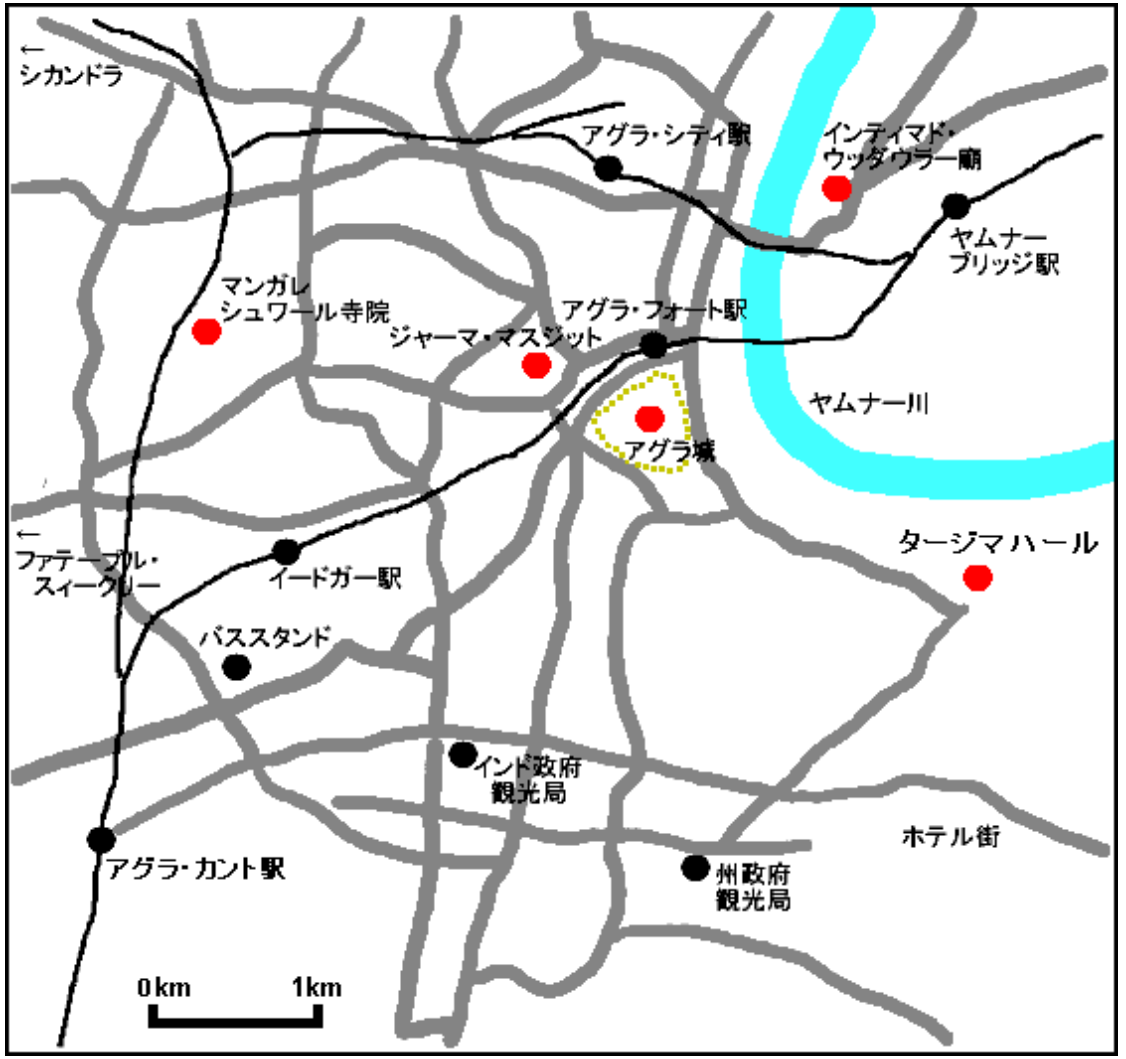
観光

- 世界的に知られるタージ・マハルのほか、ムガル帝国3代皇帝のアクバルが建てたアーグラ城塞、ファテープル・シークリーと3つのユネスコ世界遺産に登録された遺跡がある

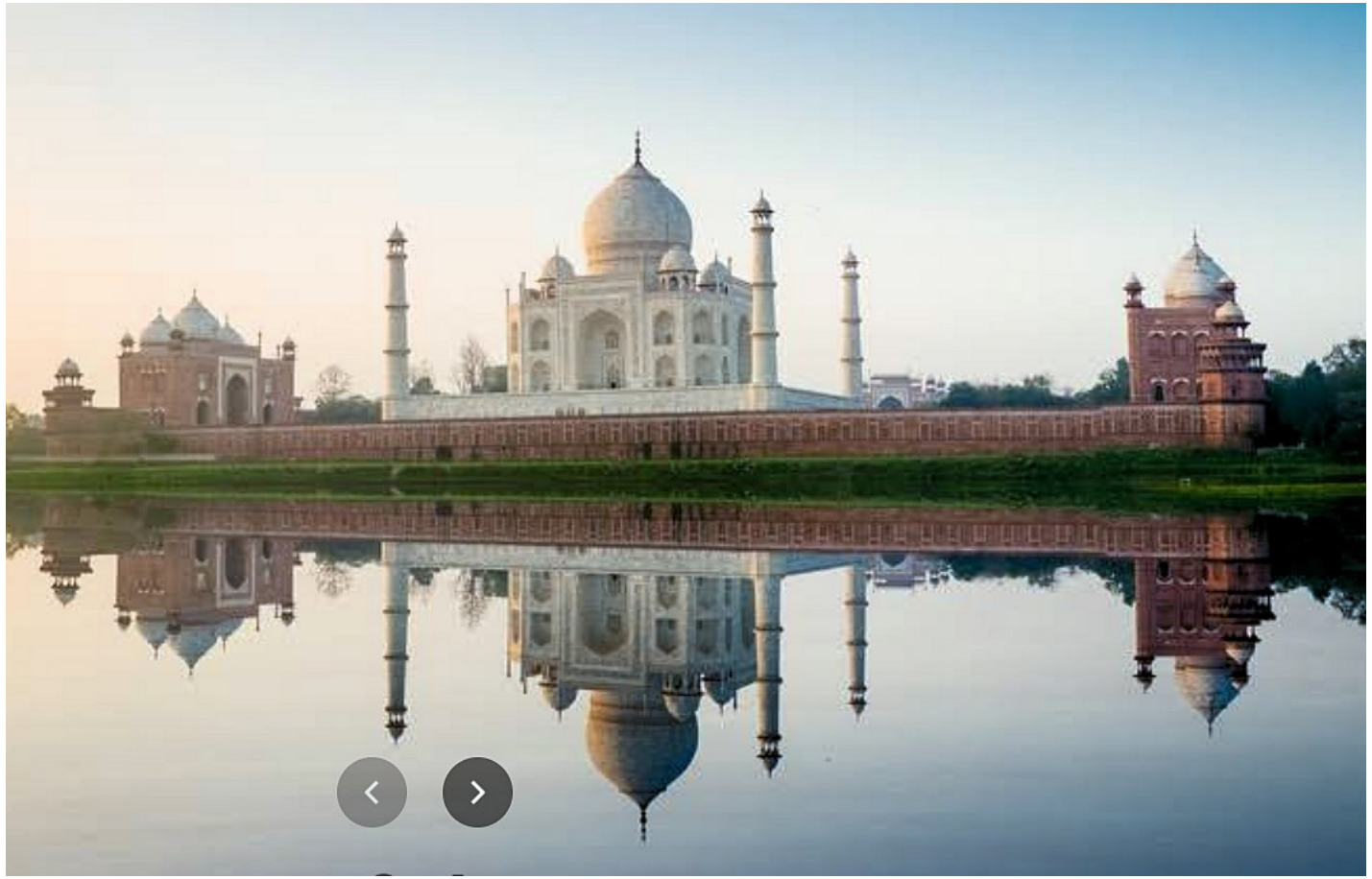




アグラ地図
アフガニスタン
中国
ルディヤナ
パキスタン
ニューデリー
ネパール
ブータン
ジャイプル
アグラ
ラクナウ
カンプル
パトナ
アフマダバード
ボパール
インドール
コルカタ
スーラト
ナグプール
ミャンマー
バングラデシュ
ムンバイ
プネー
ハイデラバード
ベンガル湾
タイ
アラビア海
ゴア
バンガロール
チェンナイ
コチ
スリランカ
0
500km
ラッカディブ海
Copyright © 旅行のとも、ZenTech
インドネシア


←
シカンドラ
アグラ・シティ駅
インティマド・
ウッダウラー廟
ヤムナー
ブリッジ駅
マンガレ
シュワール寺院
アグラ・フォート駅
ジャーマ・マスジット
ヤムナー川
アグラ城
←
ファテープル・
スィークリー
イードガー駅
タージマハール
バススタンド
インド政府
観光局
ホテル街
アグラ・カント駅
州政府
観光局
0km
1km

タージマハル



アーグラには、ムガル帝国皇帝シャー・ジャハーンが、1631 年に出産により死亡した愛妃ムムターズ・マハルのために建設した墓廟として有名なタージマハルがある。

この印象的な墓廟は巨大なドームと、宝石がはめこまれた白い大理石の精巧なデザインが特徴。
4 つの尖塔で囲まれた正面の庭園には墓廟の姿が映る水路がある。

タージ・マハル - Google マップ

墓廟タージ・マハルは、その楽園のような美しさに驚かされます。

壁面はアラベスク模様、大理石でできたドームはインドにしか見られない一級品、
ヤムナ川に映った墓廟はその美しさを一層際立たせます。

その美しさと至高さの裏にある、妃への深い愛情を感じる世界でもトップクラスの建造物です。

タージ・マハル - Google マップ

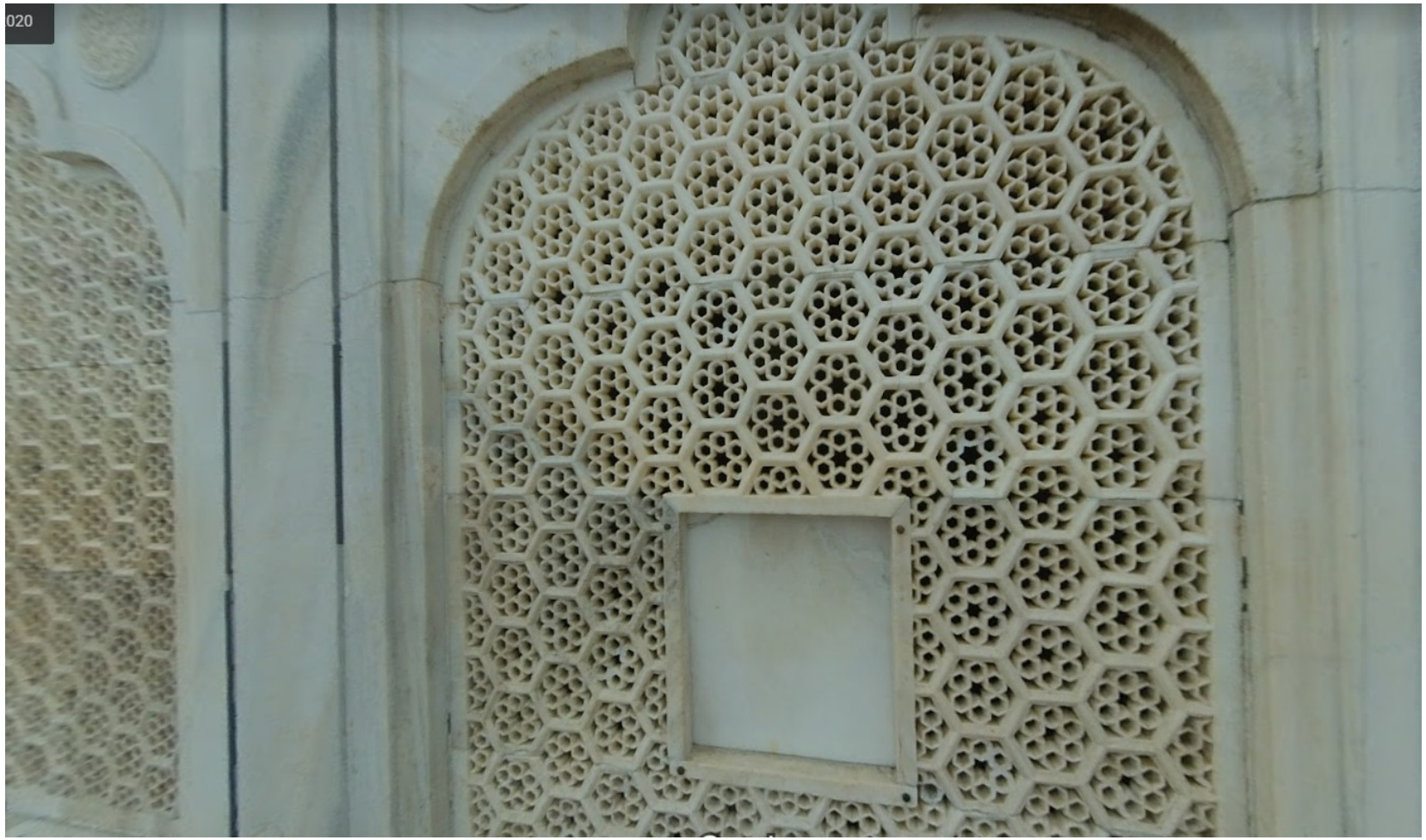
Google map で、タージ・マハルの広大な場所を見てみましょう。

タージ・マハル - Google マップ

タージ・マハル - Google マップ

見えている
川は、
ヤムナー川
でえす。

satpal jat - Google マップ

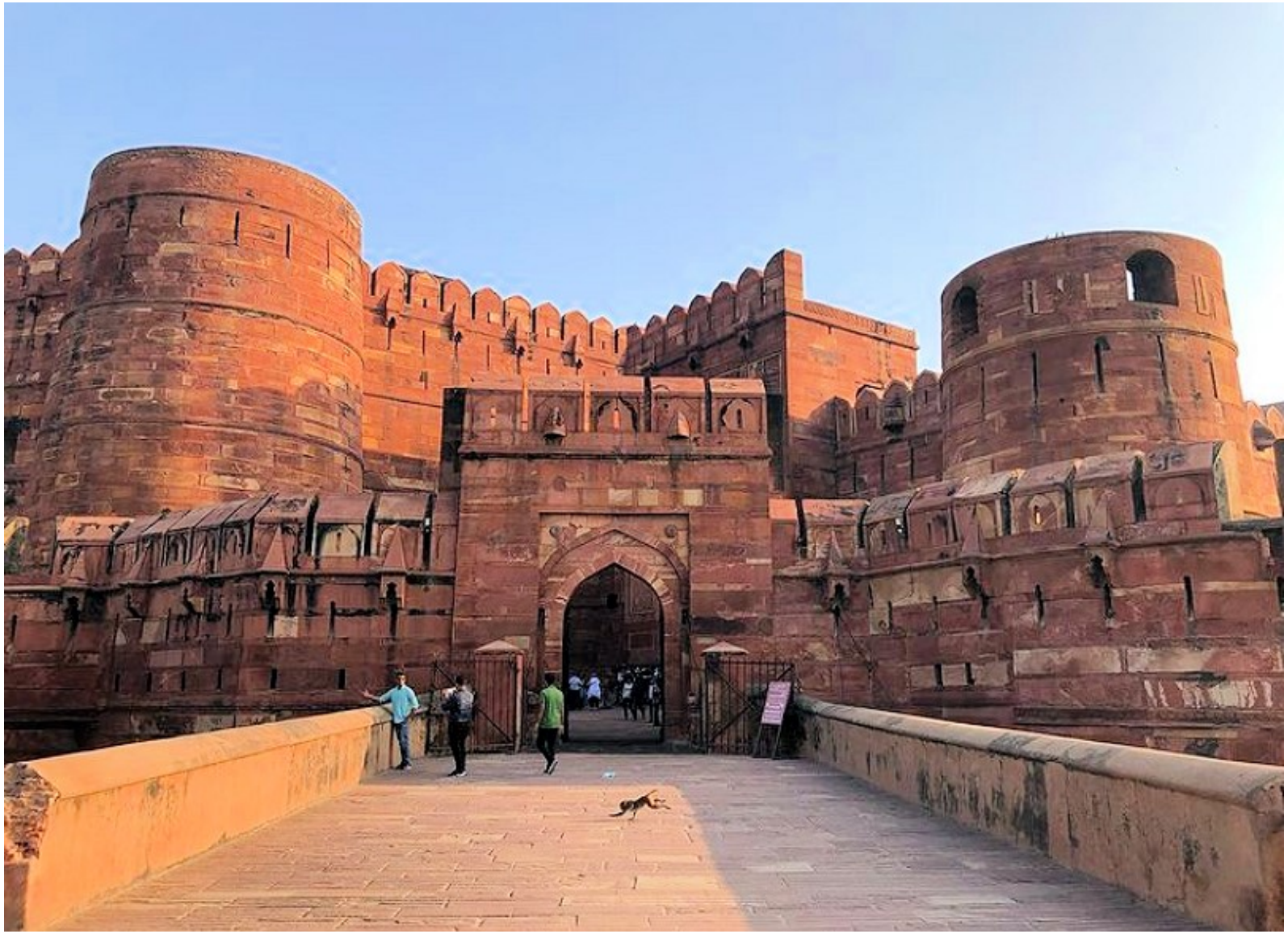


タージマハルの側面です。

アーグラの名所の位置

イティマード・ウッダウラ廟
Itmad-ud-Daula
ヨハリ・バザール
ジャマ・マスジッド
アーグラ城塞
メフタブ・バック
Mehtab Bagh
タージ・マハル
Taj Mahal Agra
タージ・ネイチャー・ウォーク
Taj Nature Walk
マリアージュ・ガーデン
Marriage Garden
ナグラ デブジット
NAGLA DEVJIT
Sindhi Bazar
Haathi Ghat
Yamuna Bridge Post Office
Axis Bank
Etmaddulah Police Station
ハヌマン ナガー HANUMAN NAGAR
MSME-DEVELOPMENT INSTITUTE Nunhai
Paatiram Ji Ka Temple
Nagala paima temple
Ram Leela Maidan
Shakthi Pith Mandir
SHREE BALAGI TEMPLE
カニカ・パーク
Kanika Park
Nagla teen
ヤムナー川
画像
ストリートビュー
Photo Path
360°写真
場所をクリックして画像を表示できます 詳細

アーグラ城塞



城壁の色は赤。赤砂岩で築かれた城壁は美しい装飾が施され、この色にちなんで別名“赤い城”と呼ばれている。

ムガル帝国の皇帝がアーグラに遷都するときに作った居城。

場内には白亜で幾何学模様が施された部屋もあり、その中の一つに“ムサンマン・ブルジュ（囚われの塔）”がある。

第6代皇帝が父親を幽閉した部屋で、そこからタージ・マハルを見ることができます。美しい部屋に複雑な親子関係を感じる悲しい場所です。

ジョーズ.アドベンチャー　最初の壁の後ろにはワニでいっぱいの堀があり、2番目の後ろには野生のライオンとトラでいっぱいの領域があり、矢で撃たれずに3番目に作られた場合、大きな軍隊があります。

【インド】アグラの観光スポットおすすめ12選！充実した旅行を！ - おすすめ旅行を探すならトラベルブック(TravelBook)

イティマード・ウッダウラ廟

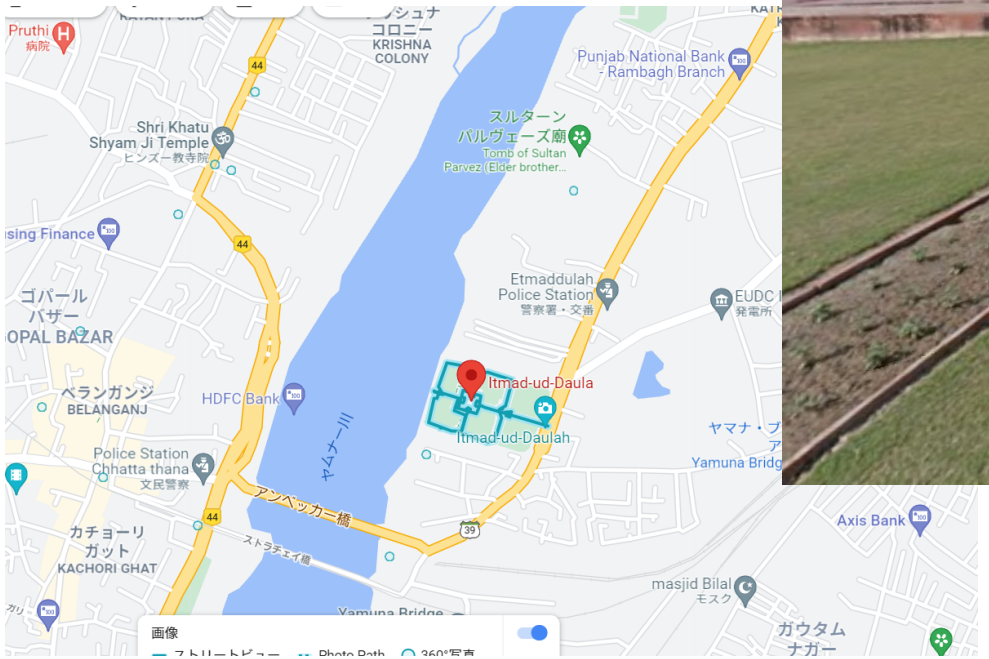
イティマード・ウッダウラ廟は、インドのアグラにある霊廟で、イティマド・ウッダマラ廟は、17世紀頃の建造物であるとされている。

この霊廟があるアグラは、インドの中でも有名な都市の一つとなっており、イティマド・ウッダウラ廟以外にも、かの有名なタージ・マハルがあることでも知られている。

イティマード・ウッダウラ廟

Itmad-ud-Daula - Google マップ

ここはムガル帝国の第4代皇帝の妃が父母のために建てたお墓。



イティマド・ウッダウラー廟

アグラ城から車で10分程の距離、ヤムナ川の対岸にあるのが「イティマド・ウッダウラー廟」。ここはムガル帝国の第4代皇帝の妃が父母のために建てたお墓。

こじんまりとした建物ですが、この廟の大理石には透かし彫りの技法が使われており、この技法は後にタージ・マハルに受け継がれました。壁や床に施された象嵌細工はお花をモチーフとしたものが多く、女心をくすぐるデザインとなっています。

[タージ・マハルだけじゃない！インドの古都アグラ観光モデルコース｜インド｜トラベルjp 旅行ガイド (travel.co.jp)]

1622年1月、ムガル帝国の宰相ミールザー・ギヤース・ベグが死亡した。彼は皇帝ジャハーンギールから尊称「イティマード・ウッダウラ」（国家の柱）の称号を与えられた人物である。

娘のジャハーンギール妃であるヌール・ジャハーンはその死を悼み、同年から1628年にかけて墓廟をヤムナー川の右岸に建設した。建材は主にラージャスターン地方から集められ、白大理石を主として壁を彩るための紅玉、碧玉、ラピスラズリ、オニキス、トパーズといった宝石がちりばめられた。

完成した墓廟は中央のドームと四つのミナレットから成る典型的なムガル建築であり、のちに建設されたムムターズ・マハルの墓廟タージ・マハルの原型になったという。

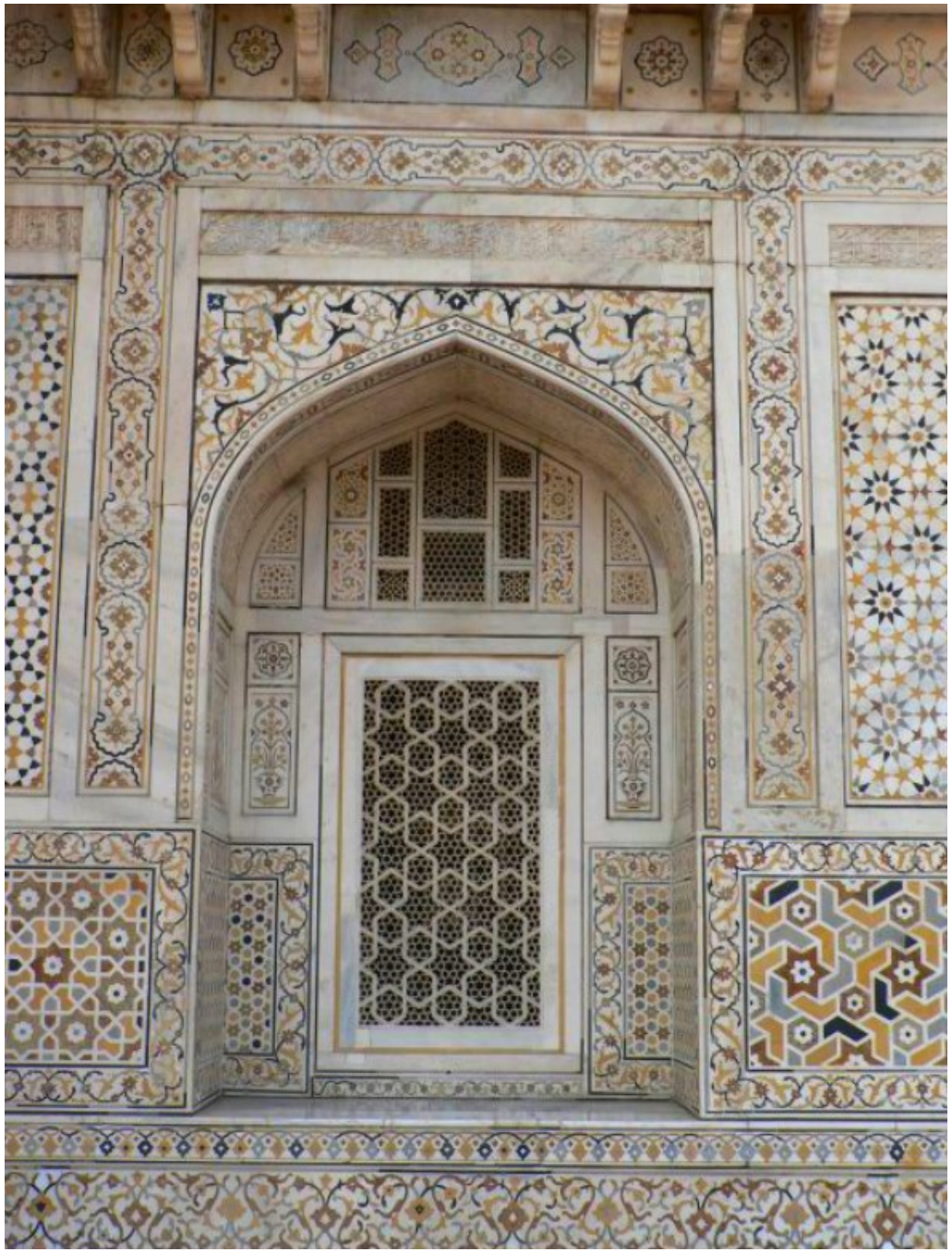
ジャマー マスジッド

アーグラー城から程近い、鉄道線路側にあるイスラーム教のモスク（礼拝所）です。

ジャマー・マスジットとは正式にはマスジデ・ジャハーン・ヌマーという名で、その意味は「世界を見渡すモスク」であり、イスラム圏内の各所に同じ名前のモスクが存在します。

1571年完成のモスクは、都シークリーの中でも最も巨大な建設物です。

上部はチャトリ（小塔）がずらりと並び、インドにおけるイスラム建築の特徴をよく表しています。長い回廊が伸び、美しく緻密な装飾で埋め尽くされて壁や天井は見ごたえがあります。



壁や床に施された象嵌細工はお花をモチーフとしたものが多く、女心をくすぐるデザインとなっている。

建材は主にラージャスターン地方から集められ、白大理石を主として壁を彩るための紅玉、碧玉、ラピスラズリ、オニキス、トパーズといった宝石がちりばめられた。

ランチ：インド版の定食「ターリー」がオススメ！

写真：SAORI GRAPH

ジャマ・マスジッド

マタープ バーグ

メフタブ・バック - Google マップ

川越しにタージマハールを裏側からしっかり見ることができる。しかも人は少なく、低木がいっぱいあって雰囲気も良く、撮影スポットは盛たくさん。

タージマハールの
絵になる景色

[決して身に着けてはいけない。世界6の呪われた宝石：カラパイア (karapaia.com)]

身に着けると
不幸になる宝石
だという。

ここからは、
ジャイプールです。

ジャイプール

イギリス王子がこの都市を訪問した際、歓迎の意味を込めて王子が好きなピンク色に街中を塗って迎えたことから、現在も別名「ピンクシティ」と呼ばれています。
マハラジャ文化が大いに栄えたことを裏付ける「ハワマハル（風の宮殿）」や豪華絢爛な「シティパレス」なども全てピンク色に塗られています。

2022年 ジャイプールで絶対外さないおすすめ観光スポットトップ10
【定番から穴場まで！】 トリップアドバイザー (tripadvisor.jp)

- **ジャイプールは、別名「ピンク・シティ」**で、約１０ｋｍのピンク色の城壁に囲まれ、ピンク色の宮殿や建物が集まった旧市街の景色は日本から遥か異国の地であることを感じさせます。
- 今回は贅を尽くしたマハラジャの宮殿、小高い丘にそびえる広大なアンベール城、ピンク色の美しい風の宮殿、宝石が並ぶバザーや専門店など、ジャイプール観光のおすすめ観光地があります。

ジャイプールとはどんな街か

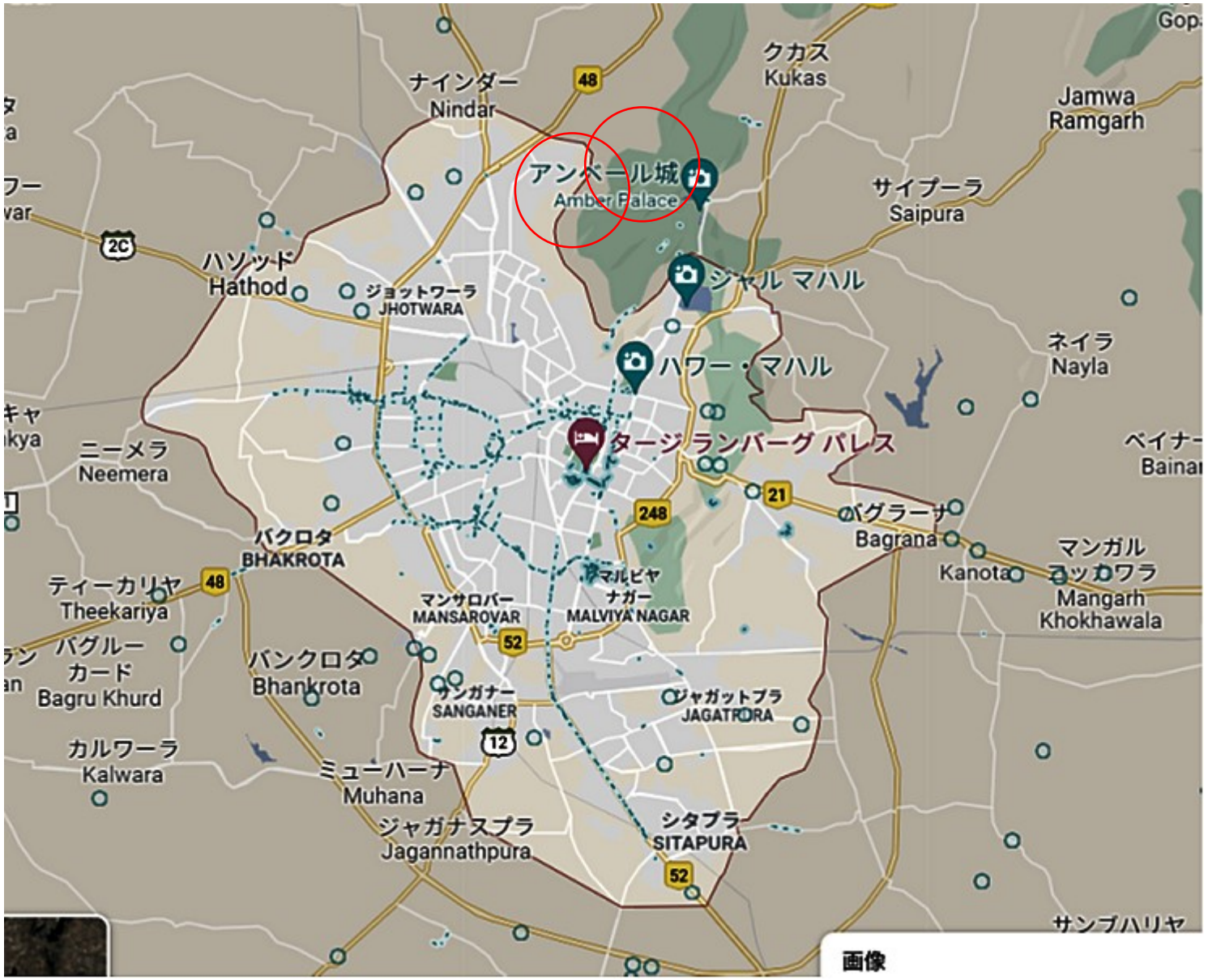
- 経済成長著しいインドにあって、古都ジャイプールも拡大を続けている。人口は３０５万人。
- 歴史あるエリアは城 壁に囲まれた旧市街とその周辺になるが、現在は、城壁の外にも街は拡大しており、南西部にはピンク・シティのイメージとはまったく異なる、驚くほど近 代的なビルが立ち並ぶ界隈も出現している。
- ジャイプール国際空港、鉄道の駅などが、こうした新市街にあります。またブロックプリントの布地やジュエリー など、インドならではの繊細な手作業をほどこした美しい工芸品の街でもあり、最近では世界中からクリエーターやファッション関係者が訪れる。

ジャイプール

- 建物の壁は19世紀後半、ジャイプールを訪れた英国王室の王子を歓迎するために、ピンク色に塗られ たと言われている。
- 道路は碁盤目状に敷かれており、その両側に並ぶピンク色の建物内には、宝石が並ぶジュエリーバザーを始め、彫像、布、アクセサリー、鍋など、ありとあらゆるものの店がひしめき、わずかな空き地にも食べ物を売る屋台が並んでいます。
- とても1日では回りきれない規模なので、目当てのものを集中的に探すのがおすすめです。

ジャイプール

[ジャイプール、インドのマハラジャ宮殿都市の見どころ (jtb.co.jp)]



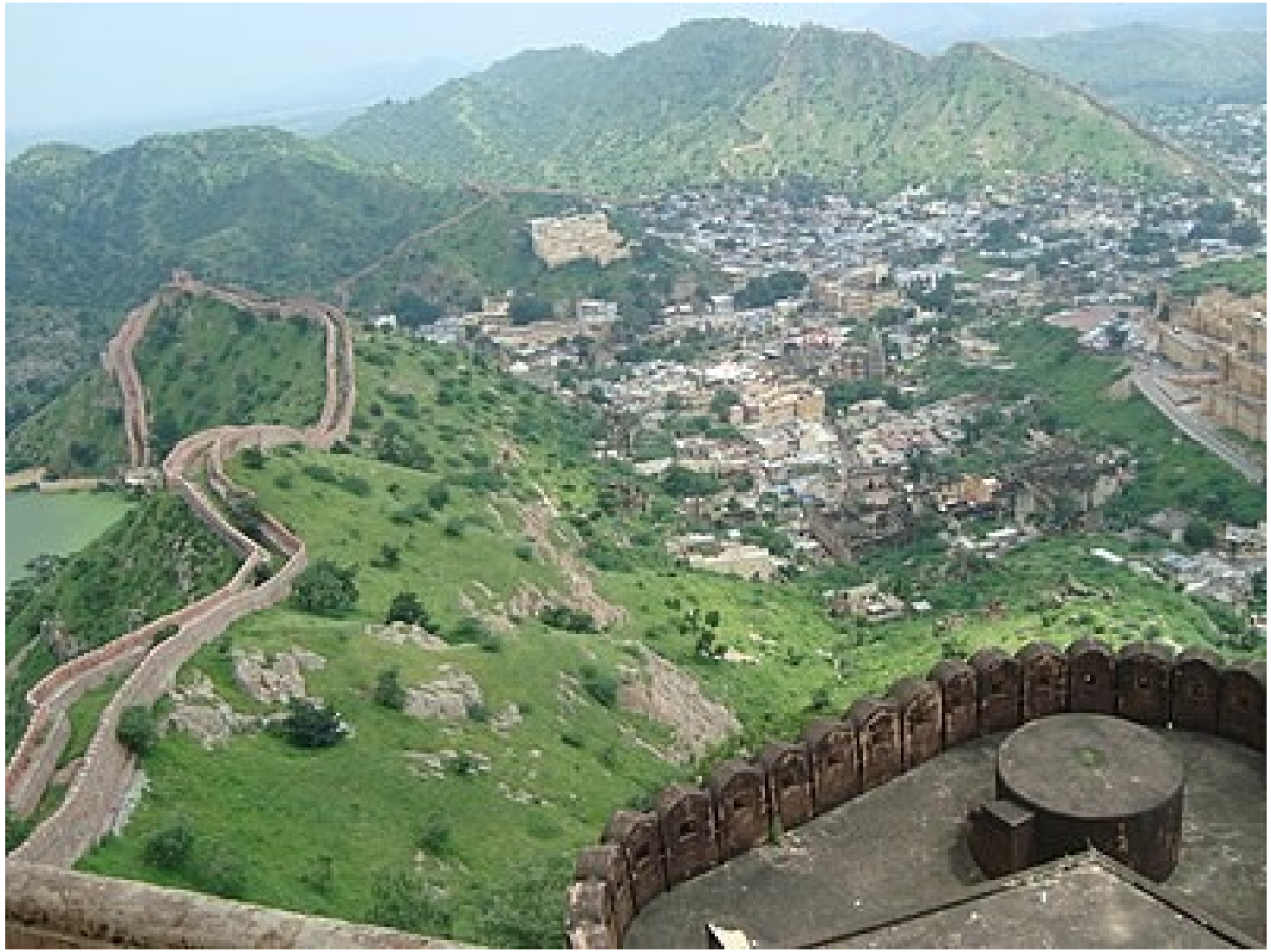
ジャイプル（ジャイプル国際空港）の気候 [隠す]													
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
最高気温記録 °C (°F)	31.7 (89.1)	36.7 (98.1)	42.8 (109)	44.9 (112.8)	48.5 (119.3)	47.2 (117)	46.7 (116.1)	41.7 (107.1)	41.7 (107.1)	40.0 (104)	36.1 (97)	31.3 (88.3)	48.5 (119.3)
平均最高気温 °C (°F)	22.4 (72.3)	25.0 (77)	31.0 (87.8)	37.1 (98.8)	40.3 (104.5)	39.3 (102.7)	34.1 (93.4)	32.4 (90.3)	33.8 (92.8)	33.6 (92.5)	29.2 (84.6)	24.4 (75.9)	31.9 (89.4)
平均最低気温 °C (°F)	8.4 (47.1)	10.8 (51.4)	16.0 (60.8)	21.8 (71.2)	25.9 (78.6)	27.4 (81.3)	25.8 (78.4)	24.7 (76.5)	23.2 (73.8)	19.4 (66.9)	13.8 (56.8)	9.2 (48.6)	18.8 (65.8)
最低気温記録 °C (°F)	−2.2 (28)	−2.2 (28)	3.3 (37.9)	9.4 (48.9)	15.6 (60.1)	19.1 (66.4)	20.6 (69.1)	18.9 (66)	15.0 (59)	11.1 (52)	3.3 (37.9)	0.0 (32)	−2.2 (28)
降水量 mm (inch)	7.0 (0.276)	10.6 (0.417)	3.1 (0.122)	4.9 (0.193)	17.9 (0.705)	63.4 (2.496)	223.3 (8.791)	205.9 (8.106)	66.3 (2.61)	25.0 (0.984)	3.9 (0.154)	4.2 (0.165)	635.4 (25.016)
平均降雨日数	0.6	1.0	0.4	0.7	1.4	3.9	11.2	10.0	3.8	1.3	0.4	0.4	35.2
出典：*India Meteorological Department (record high and low up to 2010)*[2][3]													

５月の平均最高気温は、４０．３度。

ジャイプールの歴史

- 1727年11月18日、カチワーハー家の当主サワーイー・ジャイ・シング2世によって建設が開始される。ジャイプルは、創設者ジャイ・シング2世「ジャイの町」を意味する
- それ以前はアンベールが王国の首都であったが、人口増加や水不足の理由から遷都の必要に迫られ、現在の町の位置に新たな計画都市として建設された。
- ジャイプルの「プル」は「城壁に囲まれた町」という意味だが、建設当時の町（現在の旧市街）は、高さ6m、総延長10kmに及ぶ城壁で囲まれており、城壁には7つの主要な門が設けられていた。

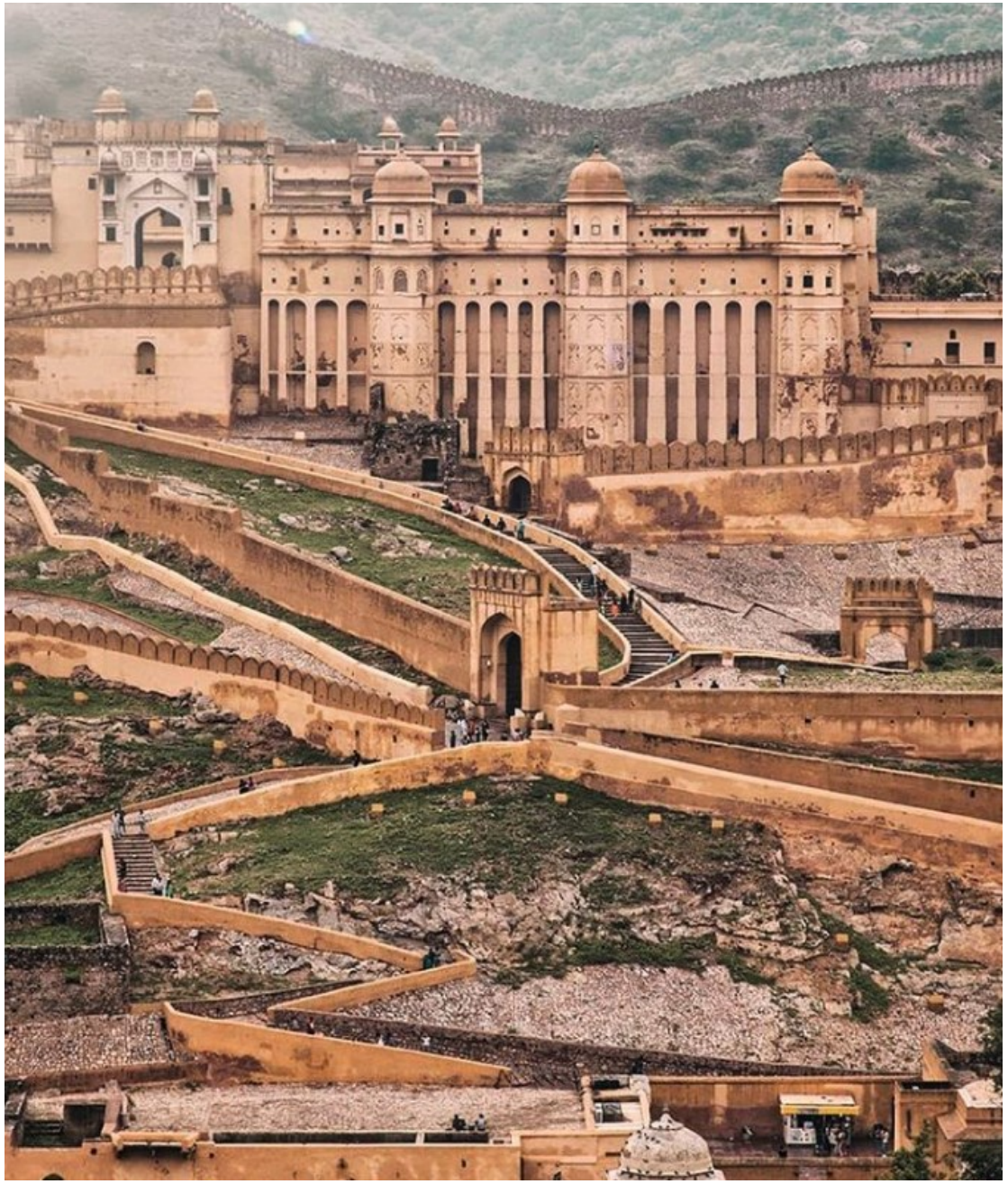
- ジャイプル藩王国の藩王（マハーラージャ）は、イギリスがインドの大部分を植民地化したイギリス領インド帝国時代においても、イギリスに対して一定額の税金を納めるなど間接的な形で従属していた。
- しかし、領地の自治権は保証されていた。
- そのため、デリーやアーグラーなど、ムガル帝国の直轄領を経てイギリス領インド帝国の直接統治下に置かれた都市に比べ、インド的な雰囲気をより強く残している。



周囲をジャイガル城砦の城壁が取り囲む。右端がアンベール城

アンベールは、ラージプートのカチワーハー家の王国・アンベール王国の首都であった。

ムガル帝国の第3代君主アクバル1世は、1562年にアンベール王の娘と結婚してアンベール王国と同盟したのを皮切りに、アンベールをはじめとするラージプートの王侯を次々に連合して傘下に加えていった。



アンベール城

ムガル帝国の司令官であった一族が丘の上に建てた大規模な宮殿。世界遺産の一つです。丘の上にあるため、宮殿までは観光客用に象に乗って登ったりすることができます。またアンベール城のもつ、精緻で鮮やかなデザインには心を奪われます。美しい庭園、ステンドグラス、鮮やかな装飾や彫刻など、その華やかさは見事の一言です。

アンベール城

1592年から、もともと城砦があった所にラージャ・マーン・シングによる大規模な築城が始められた。

1727年、アンベール王ジャイ・シング2世はアンベールから自らの名を冠したジャイプルへと遷都するまで、改築が続けられた。

かつては城主などに限られていたが、現在は観光客が象に乗って城のある丘まで登ることができる。

アンベール城 - Wikipedia

ジャイガル城砦から見た
アンベール城

ケサール・カヤーリー・
バーグ水上庭園

Amber Fort Jai Mandir01 - アンベール城 - Wikipedia

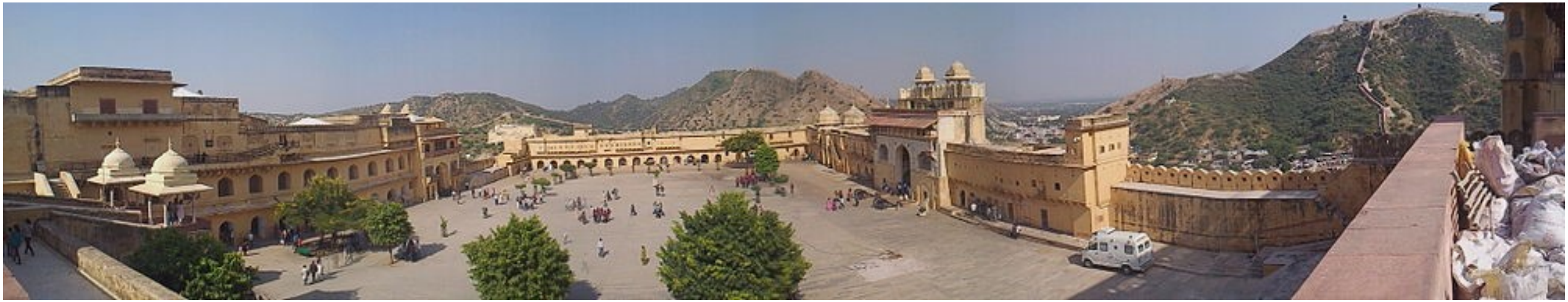
勝利の間（鏡の間）

このほか、
アンペール城の
多くの写真を、
ネットで見て
みましょう。

ガネーシャ門

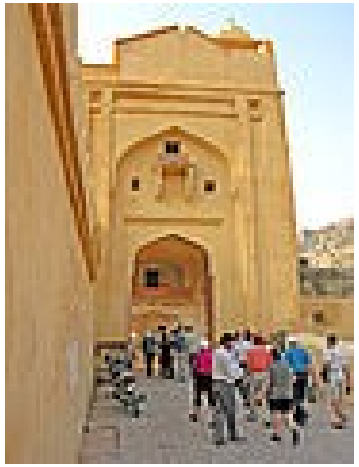
Amber fort inside - アンベール城 - Wikipedia

ジャレブチョーク（中庭）



太陽門

月の門



ライオン門

ガネーシャ門

ジャイガル城砦

アンベール城背後の山上にある城.

1726 年に, ジャイ・シン II がアンベール城を守るために建てた.

Jaigarh Fort　ジャイガル　城壁

Pious Saraswat - Google マップ

両城は，隠れた通路でつながっている．

ジャイガル要塞は大きく南北に分かれている．南郭は純粋な砦であり，北郭の内部は宮殿造りになっている

北郭の北端には庭園まである

ナハーガー・フォート

ナハーガー・フォート - Google マップ

ナハーガー・フォートは、1734 年にジャイプルの街を見下ろす丘に建てられた精巧な要塞。市街の景色を一望できる。

水の宮殿「ジャル・マハル」

建物にピンク色の塗装が施された旧市街地「ピンク・シティ」や、見る人を魅了する湖に浮かぶ水の宮殿「ジャル・マハル」など、見どころも満載。セレブやハリウッドスターだけでなく、一般観光客も多く訪れます。そんな魅力的な都市ジャイプールには魅力的なホテルも沢山あります。
そこでジャイプールに多数あるホテルを厳選しておすすめのホテルをご紹介します。

タージ ランバーグ パレス

[タージ ランバーグ パレス - Google マップ]

1835年に建てられた宮殿内にある豪華なホテルをみて見ましょう。

ガンディナガルジャイプール駅とアルバートホール博物館の両方から4km。

タージ ランバーグ パレス - Google マップ

タージ ランバーグ パレス

こんなホテルもあります。

￥11,538・3 つ星ホテル

Piyush Samaiyar - Google マップ

Piyush Samaiyar - Google マップ

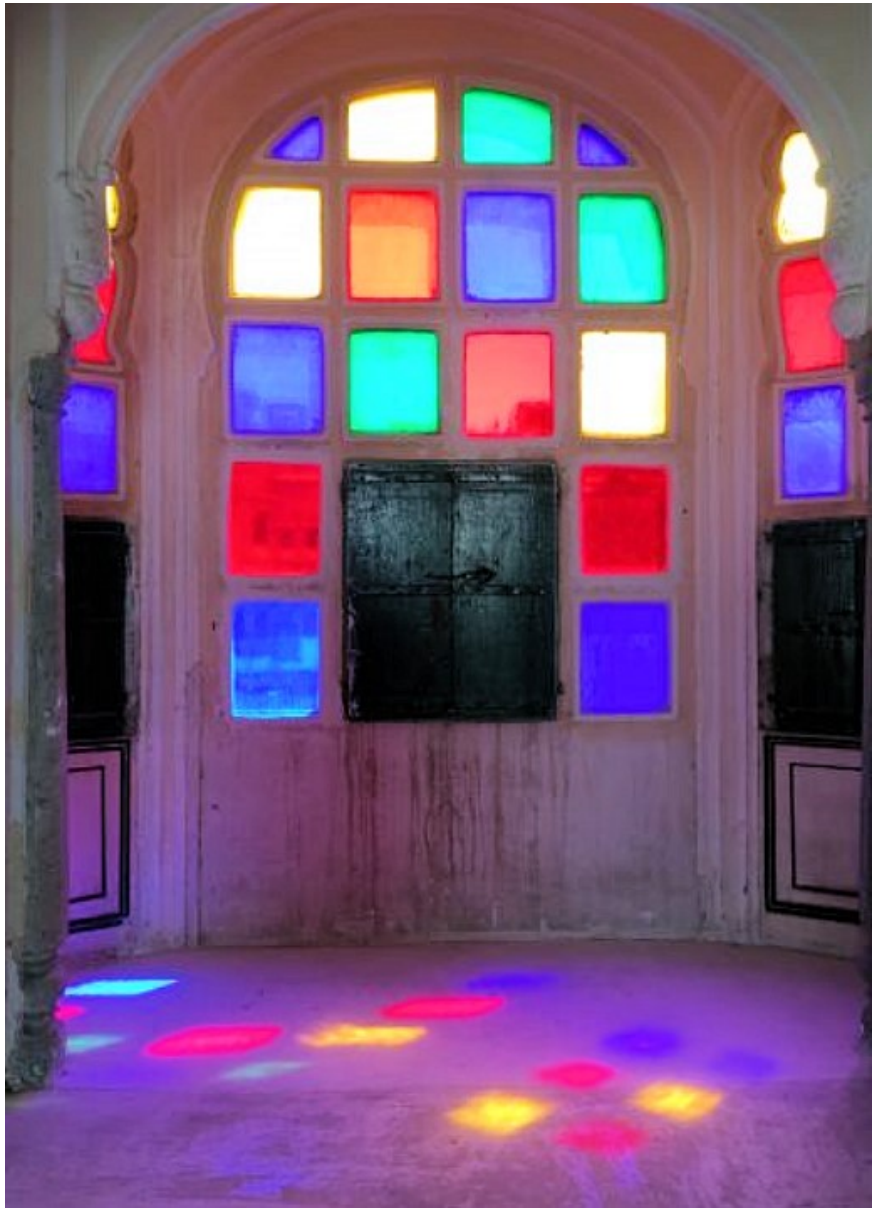
運気を高めるために多くのマハラジャ達が集まり、また世界中から集められた宝石が流通されていた事から宝石の街としても古くから栄えている都市です。

宝石店が、あちらこちらに軒を連ね、多くの宝石が比較的安い値段で購入できるのも魅力の一つとなっているジャイプールです。

かわいいが止まらない街！インドのピンクシティ・ジャイプールって知ってる？｜旅Pocket (tabikobo.com)

圧倒的な存在感を放つハワマハル(風の宮殿)は、一般人に姿を見せてはいけない宮中女性たちのために建てられたもの。

その宮中女性たちが外の様子を覗けるようにと、小さな窓がたくさんついています。



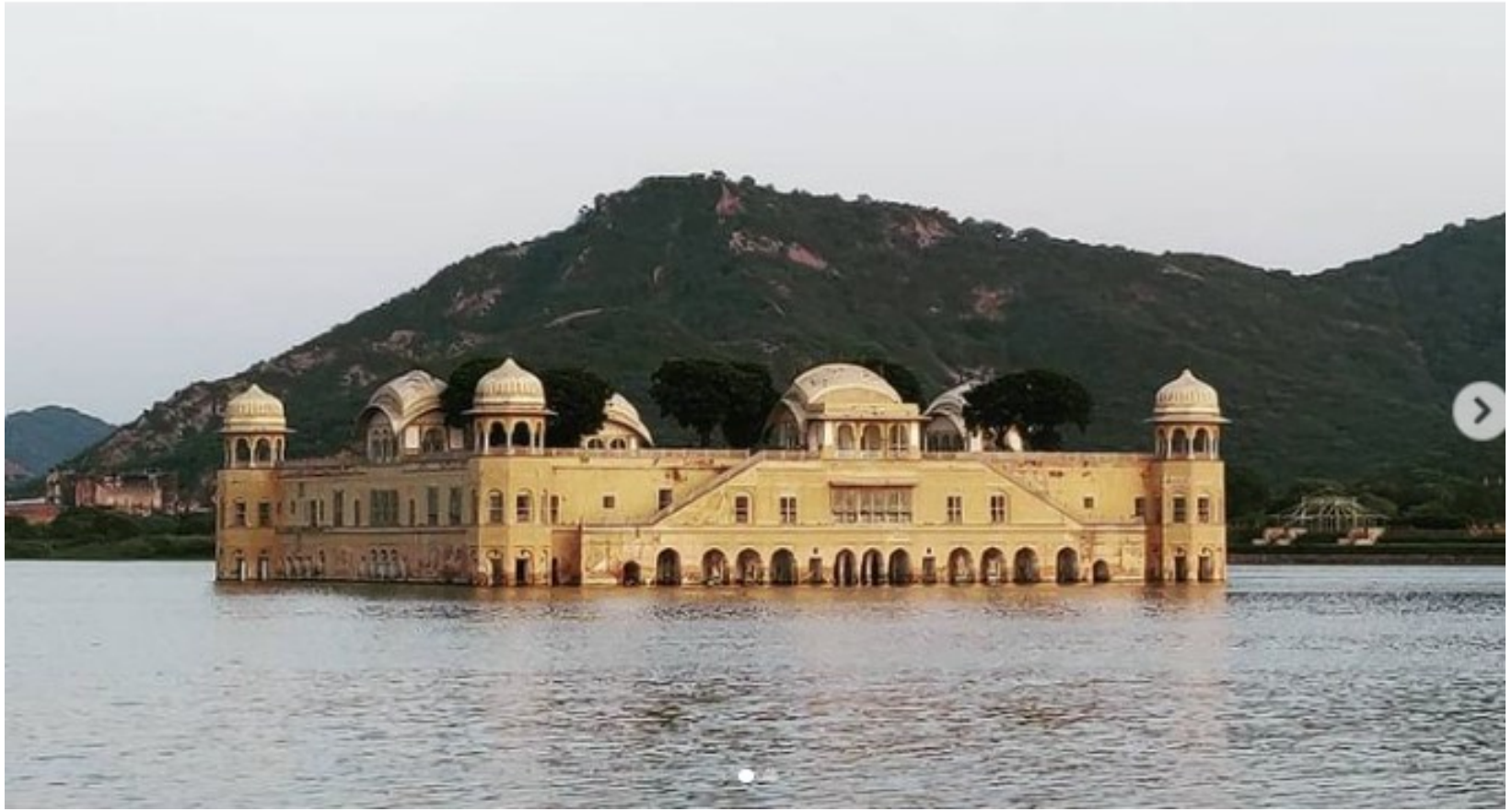
そして、宮殿内にある美しいステンドグラスも必見です。詳しく見てみましょう。

かわいいが止まらない街！インドのピンクシティ・ジャイプールって知ってる？｜旅Pocket (tabikobo.com)

アルバート・ホール博物館

ミアッサ・イズメール・ロード沿いに博物館が建っています。創設は1876年で、ヴィクトリア女王の息子であるアルバート王子がジャイプルを訪れた際に迎賓館として建てられました。インドらしい建築様式をふんだんに盛り込んでいて、外観も見応えがあります。内部も見学可能です。館内には巨大なシャンデリアや絵画がありラグジュアリーな雰囲気です。

ジャル マハル



ジャルマハル湖に浮かぶマハラジャの神秘的な宮殿。王の夏の避暑として作られたそうですが、水に浮かぶ姿は美しく、夕日などに照らされるとさらにロマンチック。

湖は16世紀に作られた人口湖で、かなり広大な湖の中に5階建ての宮殿がそびえています。

ビルラ・マンディル寺院

整然とした広い敷地に、真っ白なヒンドゥー教の寺院が立ち並んでいます。入場料を支払い、靴を預けて見学しましょう。
内部にはヒンドゥー教の神々が描かれてあり、思わず見入ってしまうほどの美しさ。
ビルラー財団の創設者の銅像もあります。外観、内観、広場共に美しい寺院となっています

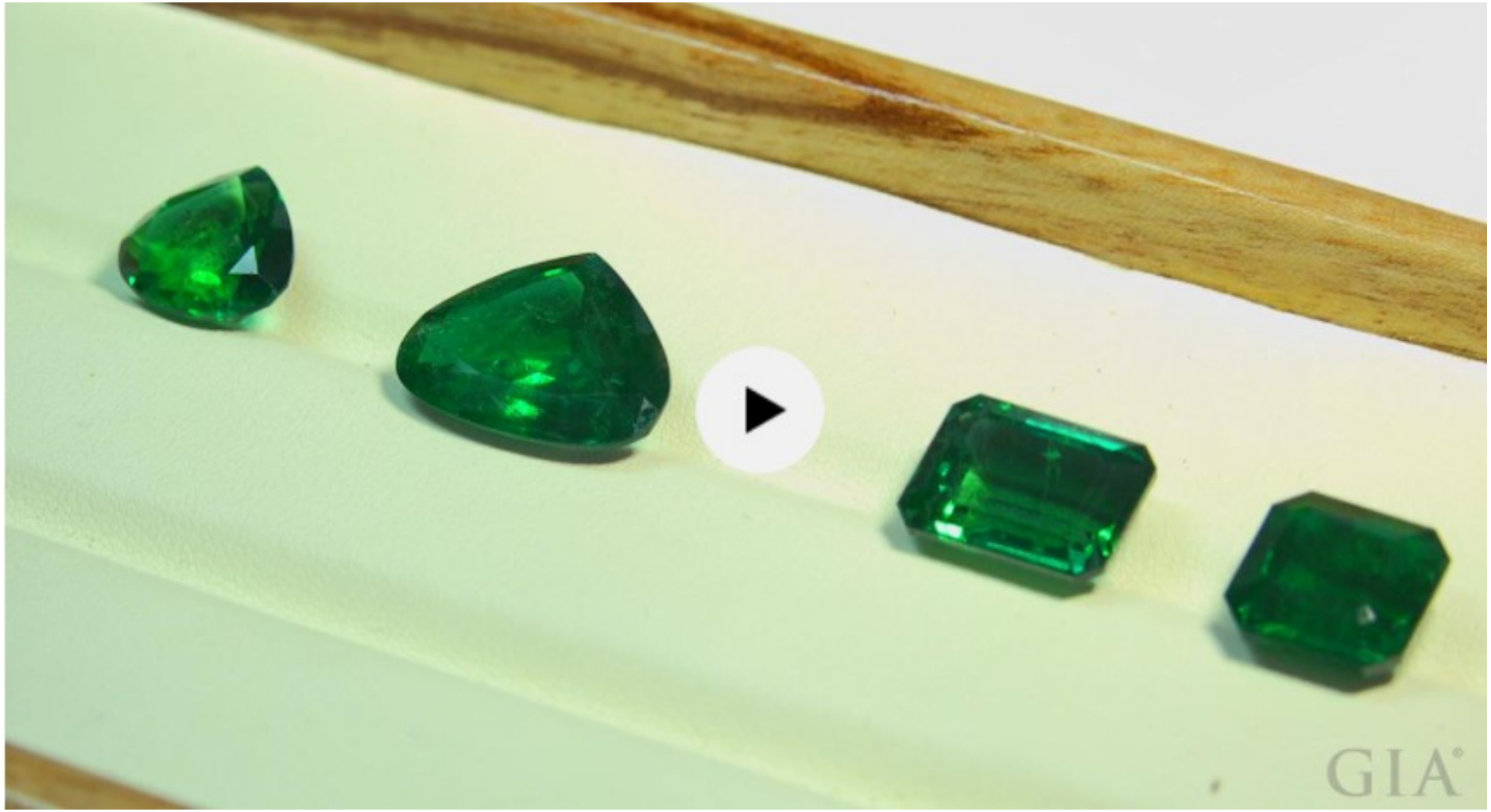
Station road Market

Station road Market - Google マップ

下町の様子も見てみましょう。

ジャイプールの市場 クチコミ人気ランキング【フォートラベル】|ジャイプール|Jaipur (4travel.jp)

インド - ジャイプール：エネルギッシュなエメラルドのカット・取引の地 | リサーチ＆ニュース (gia.edu)



【インド】アグラの観光スポットおすすめ12選！充実した旅行を！ - おすすめ旅行を探すならトラベルブック(TravelBook)

ハマー・マハルはインド国内、ラージャスターン州の州都ジャイプルに位置する観光スポットです。ハマー・マハル周辺には世界文化遺産である天文台史蹟「ジャンタル・マンタル」もあるため、エリア内は人気観光地となっています。
ハマー・マハルが創設されたのは1799年で、ラージプートの王様であるサワーイー・プラタープ・シングによって建築が命じられました。ピンク色をした砂岩の外壁が特徴で、建物は5階建てとなっています。小窓の数はなんと953個です。通りに面した小窓は宮廷の女性達街の様子を見たり、風を循環させたりできる役割があります。

インド

アーグラ、ジャイプールの巻

終わり

吉岡　芳夫

【インド】ジャイプールでおすすめの観光スポット10選！インドを満喫！ - おすすめ旅行を探すならトラベルブック(TravelBook)

ジャイプール、インドのマハラジャ宮殿都市の見どころ(jtb.co.jp)